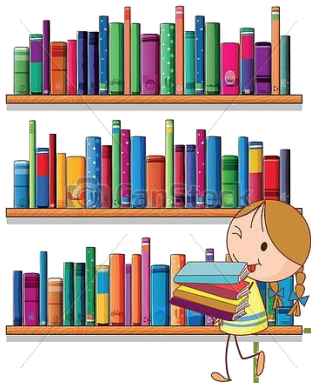




Library NEWS

～図書館だより～

令和3年度 晃陽中学校図書館



冬休み前に借った図書の返却 忘れていませんか？



冬休み前の特別貸出図書の返却を忘れずに。
借りた図書を返してから次の図書を借りましょう。



現在は普通貸出に戻って
います。ひとり3冊 まで
1週間の貸出です。

12月の貸出数

1年生・・・579 冊
2年生・・・237 冊
3年生・・・318 冊

ブック・オブ・ザ・イヤー2021結果発表！

あなたの記憶に残った最良の一冊は？

どんな素敵な本との出会いがあったのか？

本好き晃陽中のみんなが選んだものをまとめ、配布します。お楽しみに。



「5分後に意外な結末シリーズ」
学研教育出版 編



「本好きの下剋上」
香月 美夜 著



「52 ヘルツのクジラたち」
町田 そのこ 著

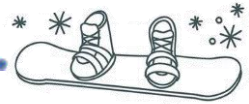




晃陽中学校図書館にある



..... おすすめの本



2022.1



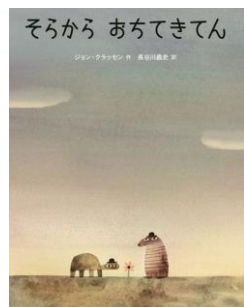
「赤と青とエスキース」 青山 美智子 著 PHP 研究所 240 p

一章を読み終えただけで涙が出る。期間限定の恋愛。切なくて胸が締め付けられる。赤鬼と青鬼の章のラストでとてもびっくりした。あの2人がどうなったのか気になっていたの、知ることができて本当に良かった。伏線回収が素晴らしい。そしてこのタイトル。すごい。素敵なストーリーだった。幸せな読後感になれる。読書って最高。もう一度、初めから読みたくなる本。



「硝子の塔の殺人」 知念 実希人 著 実業之日本社 501 p

どんでん返しにつぐどんでん返しで、厚みのある本だが、最後まで一気に読み。知念実希人さんの初の本格ミステリー。硝子の塔で起きる連続殺人。名探偵の碧月夜が医師の一条遊馬と一緒に、謎を解き明かしていく。読み終わった人は、絶対に犯人が誰なのか、他人に教えないように！とてもびっくりする。ワクワクする本。



「そらからおちてきてん」 ジョン クラッセン著 クレヨンハウス 96 p

シュール。世界観やキャラクターも楽しい。言葉のニュアンスが関西弁によって「こんなに伝わり方が変わるのか！」と、おどろく。ちょっとしたきっかけで、大きな事件に巻き込まれてしまうかもしれない！？というタイミングや危険な雰囲気！しかし全く重くないのも良い。どうなる？どうなる？というドキドキが盛り上がっていく本。



「100万回死んだねこ」 福井県立図書館 著 講談社 189 p

クイズや、連想ゲームのような感じで楽しい。「とんでもなくクリスタル」「おい桐島、お前部活やめるのか？」「ねじ曲がったクロマニヨンみたいな名前の村上春樹の本」など。学校の図書館でも、こんなことは毎日のようにある。言い間違いや覚え違い。奥付を見れば作者の漢字の読み方がわかる。勘違いすることは誰にでもある。逆にネタを募集中！「現場からは以上です。」

◆ ◆ ◆ 予約できます。 ◆ ◆ ◆